

空間あい サロンコンサートX ～あなたに愛と調和と芸術を～

Lotus String Quartet. Stuttgart

The 30th Anniversary Concert by Lotus String Quartet since 1992

ロータス・カルテット結成30周年記念コンサート

高崎芸術劇場初登場
東京クワルテット解散後、
日本発祥で25年以上国際的に活躍する唯一の存在



ハイドン：弦楽四重奏曲ニ短調 op.76-2 Hob.III:76 『五度』

Haydon: String Quartet in D minor op.76-2 Hob.III:76 "Fifths"

メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲 第6番 へ短調 op.80

Mendelssohn: String Quartet in F minor op.80

シューベルト：弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810 《死と乙女》

Schubert: String Quartet No.14 in D minor D810 "Death and the Maiden"

2023年2月26日(日) 14:00開演(13:30開場) 高崎芸術劇場 音楽ホール

February 26th 2023 Sunday TAKASAKI CITY THEATRE CONCERT HALL

全席指定 6,000円 U-25 3,000円

※U-25料金は公演当日25歳以下の方が対象です。当日、年齢のわかる身分証明証をご持参ください

主催：株式会社 空間あい 後援：上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、ラジオ高崎



ロータス・カルテット Lotus String Quartet

1992年結成。1993年 大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門で第3位入賞。1995年 ドイツ・シュトゥットガルト音楽芸術大学に入学。メロス弦楽四重奏団に師事。すでに日本国内での活躍が約束されていた若い音楽家たちが、そのキャリアを断ち切って、弦楽四重奏の世界を極めるべく、そろってドイツに留学してしまったことは過去に例がなく、大きな注目を浴びた。メロスは勿論のこと、アマデウス弦楽四重奏団やラ・サール弦楽四重奏団など、二十世紀を代表する名カルテットからの厚い指導と信頼を一身に受けたロータス・カルテットは次第に本場ヨーロッパで頭角を現し、難関ロンドン国際弦楽四重奏コンクールでメニューイン特別賞、パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクールで第3位特別賞、さらにドイツBDI音楽コンクール弦楽四重奏部門で第1位を受賞。これを機に、ワーナー・テルデックと録音契約を結び、CDを世界にリリースするなど、以後今日までシュトゥットガルトを拠点に極めて充実した演奏活動を展開。2005年からはロータスと同じく、メロスやアマデウス、ラ・サールに学んだマティアス・ノインドルフがロータス・カルテットの第2ヴァイオリン奏者として加入し、アマデウスやメロスの伝統を全く正統に継承して活動を続ける貴重な弦楽四重奏団として、本場ドイツにおいて安定した評価を得る成熟した弦楽四重奏団に成長した。

2006年にはシューマン没後150周年記念『シューマン：弦楽四重奏曲全曲演奏会』を東京と関西で開催。同時期にリリースされた『シューマン：弦楽四重奏曲全集』CDが平成18年度 文化庁芸術祭 優秀賞受賞。2008年には10公演に及ぶ日本縦断ツアー、2010年シューマン生誕100周年に際しては札幌コンサートホールと名古屋 宗次ホールからの招きにより『シューマン：弦楽四重奏曲全曲演奏会』を行う。2012年には結成20周年記念日本ツアーを挙行。特に大阪では、国際的活動への出発点となっただけでなく、ゲストにセバスティアン・マンツ(クラリネット)を迎え、オール・ブラームス・プログラムによる結成20周年記念演奏会を開催。その模様はNHK-TV及びFMにおいて放送されたほか、同時期に発売された『ブラームス：弦楽四重奏曲op.51-1&2』『シューベルト：弦楽五重奏曲(チェロ：ペーター・ブック)&ウェーベルン：作品集』が『レコード芸術』誌で『特選盤』に選ばれるなど各新聞・雑誌において激賞された。2017年には横浜でベートーヴェン全曲ツィクルスを行い、2018年には東京・名古屋・神戸でのベートーヴェン後期作品全曲ツィクルス(3公演×3都市)、東京・京都・広島でのシューマン全曲演奏会を含む16公演の日本ツアーを17日間で完結した。

2022年にはマティアス・ノインドルフの引退に伴い、ライナー・シュミット(ハーゲンQ)ペーター・ブック(メロスQ)に学んだスヴァンティエ・タウシャーが新たに加わることで、ドイツ弦楽四重奏の伝統は引き継がれることとなった。ロータス・カルテットは日本発祥ながらドイツを本拠とする国際的な常設弦楽四重奏団として、すでに30年以上のキャリアを誇り、今やドイツにおける弦楽四重奏の伝統的精神を受け継ぐ稀有な存在である。

音楽界、高崎に新たな活力をもたらす!

鉄壁のアンサンブルと深遠な音楽性、そして溢れ出るパッション、「読書をするように、気軽に弦楽四重奏へ触れてほしい」と、ロータス・カルテットは、室内楽の喜びを伝えてくれる。

このロータス・カルテットの演奏会は、群馬音楽センター同年の1961年に建設された東京文化会館小ホール(649席)で2月22日に行われる。その東京文化会館での演奏会と同価格とした。プログラムは、1曲だけ異なるものとなった。ロータス・カルテットが、結成30周年の日本公演にあたり、メンデルスゾーンの弦楽四重奏曲全曲を含む4種類のプログラムが用意された。プログラムの選択は、主催者側の要望も加味される。今まで高崎から東京文化会館に行く音楽ファンを意識しなければならぬ。高崎芸術劇場にて、鑑賞する、それとともに、東京文化会館の聴衆が高崎芸術劇場音楽ホールに来てもらいたい願望もあった。

プログラムの選択によって、あらゆる可能性があった。仮にプログラムA、Bとあるとすれば、Aでは、地域の音楽ファンが来てくれる、Bだったら、地域のお客様が東京文化へいくが、東京の音楽ファンがBを聴きにきてくれるかもしれないと感じたのだが、最終的には412の高崎芸術劇場の半分以上の聴衆が来て

くれる確率が高い可能性を信じた。

用意されたプログラムを演奏会当日発表とか、チケット買ってくださいお客様にプログラム案を示して投票で決めて、当日発表するという破天荒な案もあるかもしれない。また、当日配布のプログラムを用意しない、できればオンラインで配信する、お客様が当日ホールに来てプログラムを知ることになる。ロータスだったらそんなことにも対応してもらえらる頼もしい存在であるか、時期尚早であり、それは断念した。また、東京文化会館・上野駅と高崎芸術劇場・高崎駅の交通費・時間も考慮して、高崎芸術劇場が将来東京文化会館のような存在になれるか、壮大な試みの一つとして取り組んでみた。

「弦楽四重奏に大切なのは、「許し合う」こと。一番大事なのは音楽で、そこへ向けてどれだけ集中していけるか、私たち4人にとって勝負ですね。そのためには、何でも受け入れるし、何でも言い合う。音楽でも、私たちが良いものを届けられれば、必ずそう感じていただけるはず。まるで読書のように、音楽を共に体験できる環境を創っていきたく」と力を込めた。手探りでこの企画をしている私には、彼らが演奏で答えてくれる。

(株)空間あい 新井 浄

チケット取り扱い

Web

高崎芸術劇場メンバーズ ▶
(要・無料登録)



電話

高崎芸術劇場チケットセンター
TEL.027-321-3900(10:00~18:00)

株式会社 空間あい

090-1815-4608 info@kuukanai.com
ゆうちょ銀行 振替口座 00280-2-141735 カ)クウカンアイ
※上記にご送金いただければチケットを送付します。

窓口

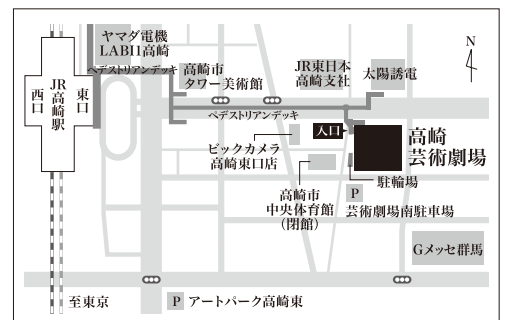
- 高崎芸術劇場チケットカウンター
- 群馬音楽センター・高崎市文化会館
- 高崎シティギャラリー
- ほか 高崎市施設プレイガイド

■ チケットびあ: Pコード 229-868



WEBサイトからも
購入できます▶

アクセス



〒370-0841 高崎市栄町9-1 TEL.027-321-7300
《JR高崎駅東口から徒歩5分》※専用駐車場はございません